



今後の道の駅の展開は

佐藤 信男議員

本市の観光拠点・情報発信拠点としたい
産業建設部長



▲道の駅「ふれあいの里HASUパーク」
(24時間トイレ)

問 道の駅の名称は、「道の駅ふれあいの里HASUパーク」と決定したが、公募を行った目的とプロセスは。

答 市民が愛着を持って訪れることが必要で、名称は、市内中学校の生徒から募集した。16点の名称案に、市民をはじめ、多くの方々が投票をした。広報「あいさい」や市ホームページ、SNSで周知を行ったほか、道の駅や市内の大型施設で投票を呼

びかけた。投票総数859票中199票を獲得した。

問 指定管理者選定委員会でプレゼンテーション及びヒアリングが実施され、審査の結果、FunSpace株式会社が指定管理者候補者に選定された。どのような点を留意して行われたか。

答 本事業の特徴は大きく3つ。

道の駅と都市公園を1つの対象施設として包括的に捉える事業とした。

コスト削減や高品質のサービス提供を期待し、性能要件や業務水準のみを提示し、事業者の裁量で水準を満たす事業内容を発注する性能発注を基本とした。

指定管理期間を10年間に設定した。

これらの特徴を踏まえ、選定委員会において審査方法を審議すること、実施方針等の公表、公募後の対話、基本協定の締結の手続きを追加した。

問 今回提案の3者から、FunSpace株式会社が選定された、どのような点の評価が高かったのか。

答 意思決定のプロセスの明確化が本施設の特徴を踏まえた提案である。制度の留意点等を深く理解し、専門部署によるサポートや豊富な複合施設

の運営実績に基づいた工夫等が各提案内容に盛り込まれ、実現性が強く期待される提案であった。

問 令和8年度のグランドオープンに向けて、今後の本事業の展開についての市長の思いは。

答 今後、新たな指定管理者が、施設の管理運営をするが、多くの市民や市外の方にも、道の駅が愛される施設になることを期待している。また、新しい道の駅を本市の観光拠点、情報発信拠点とし憩いの場、交流の場として今まで以上に発展し、多くの方に訪れてほしい。